

News Release



株式会社ファーマフーズ

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武祐
コード番号 2929
上場取引場所 東証マザーズ
本社所在地 京都市西京区御陵大原1番地49
TEL075-394-8600 FAX075-394-0099

各 位

創薬事業における「転移性悪性腫瘍プロジェクト」が 研究成果最適展開支援プログラムに採択されました。

当社と慶應義塾大学医学部との共同研究による「転移性悪性腫瘍プロジェクト 事業テーマ名：(骨転移性悪性腫瘍に対する新規治療薬の開発)」が、文部科学省所管の独立行政法人科学技術振興機構 (Japan Science Technology=JST) による研究成果最適展開支援プログラムに採択(2014年12月15日公表)されましたので、お知らせいたします。

当社では、鶏の免疫システムを活用した「ニワトリモノクローナル抗体作製技術」により、癌、免疫疾患等に対する抗体医薬品の創出を進めております。

近年、多くの癌腫で高頻度に骨転移が生じ、激しい骨痛や病的骨折などでQOL (Quality of Life) を著しく低下させることが大きな問題となっております。

既存の治療薬では未だ有効性が確立されておらず、抗腫瘍免疫を画期的に増強できる免疫抑制解除薬が強く求められておりました。

このような中、慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 工藤千恵 専任講師との共同研究を進めて来た結果、転移性悪性腫瘍に対する治療用抗体の開発に成功いたしました。

転移性の悪性腫瘍は免疫細胞の機能を抑制し、その攻撃から逃れる機構を持っています。我々が標的としている分子は、この免疫逃避機構に関与している分子の一つであり、本標的分子は腫瘍細胞の転移を促進する作用があることも確認しております。

本抗体が標的分子の作用を阻害することにより、免疫機能を活性化し、更に腫瘍細胞の転移を抑制することで、転移性悪性腫瘍の根治的な治療に繋がることが期待されます。

本抗体は免疫機能を活性化させるだけでなく、腫瘍細胞の転移する性質を抑制する2つの作用を有しており、高い治療効果が期待される画期的な新薬として、製薬企業から強い関心を集めております。

今回の補助事業採択を受け、慶應義塾大学医学部 工藤講師との連携を強化し、様々な癌種への有効性やヒト化抗体の有効性、安全性データの取得を行い、事業化を進めてまいります。

【補助事業の概要】

所管：文部科学省、独立行政法人 科学技術振興機構

補助事業名：研究成果最適展開支援プログラム

事業テーマ名：「骨転移性悪性腫瘍に対する新規治療薬の開発」

【事業スキーム】

